

## 人事院点検・評価の様式

政府統計コード	00020111
基幹・一般の別(選択記入)	その他の一般統計調査
調査の名称	民間企業の勤務条件制度等調査
政府内における調査結果の利活用状況 ※該当するものを選択(複数選択可)	<input type="radio"/> 重要な政策の立案・実施・評価の直接の根拠資料として利用
	<input type="radio"/> 国が給付する手当や給付金の算定根拠として利用
	<input type="radio"/> 月例経済報告に利用
	<input type="radio"/> 基幹統計の作成に利用
	<input type="radio"/> 基幹統計以外の重要な統計の作成に利用
	<input type="radio"/> その他(国家公務員の勤務条件等を検討するための基礎資料等として利用)
特記事項	

# ① 調査計画との整合性確保等の観点

<p>調査計画との整合性 (整合している場合チェック)</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>☐ 1.調査の目的</li><li>☐ 2.調査対象の範囲 ※</li><li>☐ 3.報告者数等※ { 報告を求める個人又は法人その他の団体(報告者)の数等 }</li><li>☐ 4.報告事項とその基準期日 ※ { 報告を求める事項及びその基準となる期日又は期間 }</li><li>☐ 5.報告の方法 ※ { 報告を求めるために用いる方法 }</li><li>☐ 6.報告を求める期間 ※</li><li>☐ 7.集計事項 ※</li><li>☐ 8.結果の公表方法及び期日 ※ { 調査結果の公表の方法及び期日 }</li><li>☐ 9.使用する統計基準</li><li>☐ 10.調査票情報の保存 { 調査票情報の保存期間及び保存責任者 }</li><li>☐ 11.立入検査 { 基幹統計調査のみ }</li></ul> <p style="text-align: center;">( ) 全項目整合</p>
-------------------------------------	--

(注1) 「※」を付している一般統計調査の点検項目については、調査事項の10%未満の変更等、承認を要しない「軽微な変更」の範囲や公表内容との整合性に留意して点検を実施

(注2) 不整合は生じていないものの、調査計画の改善を検討(予定)している事項がある場合はシート②で記載

② 統計の品質確保・向上を図るための統計作成プロセスの水準の段階的な向上の観点

業務マニュアル等の 整備・共有の状況 及び 実際の業務の実施状況 の確認等	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 課題なし</li> <li>□ 課題あり、見直し・改善を実施（予定含む）</li> <li>□ その他（例：課題精査中、課題はないが見直し・改善を実施（予定含む）等）</li> </ul>
---	---

	見直し・改善の概要（自由記入）	見直し・改善の内容（左記の類型） （該当するものを選択、複数選択可能）	見直し・改善の対応方法・手段 （複数選択可能）	対応状況 （選択記入）
記入欄 No. 1	令和7年調査の統計審査において、「調査票や記入要領の見直しによる企業からの問合せ減少等の効果を検証するためには、客観的なデータを把握すべき」との指摘を受けたことを踏まえ、同年調査の実施に当たって、調査対象企業からの問合せについてその内容及び件数を記録した。令和8年調査においては、令和7年調査でオンライン調査システムに関する問合せが多かったことを踏まえて利用手引きの内容を見直すなど、回答内容の正確性確保・回答者の負担軽減・調査の効率化に向けた改善方策を検討していく。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 調査計画の見直し・改善</li> <li>○ 業務マニュアル等の整備・充実・改善</li> <li>品質の表示</li> <li>変更管理の実施</li> <li>遅延調査票への対応</li> <li>外部委託先からの意見や改善提案の聴取</li> <li>DXの実施、データのデジタル化</li> <li>システムの要件・仕様の可視化</li> <li>プロセス診断結果の取り込み</li> <li>その他プロセスの段階的な向上に向けた取組</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 調査計画の変更申請</li> <li>調査計画の軽微変更</li> <li>○ 業務マニュアルの整備・充実</li> <li>実施方法の見直し</li> <li>その他</li> </ul>	対応中/対応予定

### ③ 必要な精度の確保・向上の観点

	目安としている指標の設定状況			目安としている指標の具体的推移 (自由記入。別紙も可)		
	精度管理の目安としている指標区分 ※該当するものを選択(複数選択可)	目安としている指標の具体的な 設定内容・考え方等 (自由記入。別紙も可)	目安としている 指標の設定時期 (自由記入)	今回調査 (又は前回調査)	前回調査 (又は前々回調査)	前々回調査 (又は3回前の調査)
1 調査の実施目的を確保するための 精度管理の実施状況	達成精度	調査実施の効率化や調査対象の回答負担軽減も考慮し、調査結果の信頼性・妥当性の確保や過去の実績等も踏まえた回収率の確保に努めていく。	—	令和6年調査 回収率50.9%	令和5年調査 回収率57.0%	令和4年調査 回収率56.0%
	<input type="radio"/> 回収率・回答率					
	回収調査票数					
	カバレッジ					
	その他					
	設定なし					